



令和6年度 3学期終業式 式辞

朝晩は冷え込むことはありますが、はっきりと季節の変化が感じられる時期になってきました。しかし、花粉が飛散する時期となり、皆さんは引き続き体調には気をつけて下さい。

昨年度の始業式や終業式は、暑さや寒さを考慮し、リモートで行うことが多かったですが、今日は、先日の卒業式に続き、ここ体育館で皆さんと顔を合わせることが出来ました。

先日の卒業式には皆さんも出席し、また、三木市長様も急遽、ご公務の合間を縫って出席して頂くなど多くの来賓の方にも見守られる中、40 回生の先輩たちの三木北高校や仲間への深い思いがにじみ出た、とても良い式を行うことができました。

私は、式辞の中で「自ら考え、行動する」人となって欲しいという願いをこめてお話させてもらいましたが覚えてくれているでしょうか。その後、先生方には、来年度に向けて、授業や部活動などの場で、一層生徒が主役となり、自信をつけられるようなご指導をお願いしました。

2年生の皆さんとは、修学旅行を共にさせていただきましたが、日覺先生をはじめ、引率の先生方の話に耳を傾け、全体に、各自の意識の高い行動によりスムーズに行程を終えることが出来ました。解散時に、新神戸駅で健康面・行動面で問題もなく順調に終わられた学年の力の素晴らしさを評価させてもらったことを覚えてくれていることでしょう。皆さんはこの経験を活かして、自分のことと、周りの人のことも考えられる人として、“チーム 41”として進路実現を果たしていって下さい。

1年生は、教室での授業の様子を見に行く度に、全体に、授業に向かう姿勢が良く、落ち着いて学びに向かっていると感じられます。また、先生からは、分からないところを自分で解決したいという意欲が見られるとも聞いています。受け身でなく自分から解決していこうとする積極性を大切にして来年度は基礎・基本を確かなものとしていって下さい。

私が着任して以来、校長室を訪れるお客様からは、今もなお「なぜ三木北高校がなくなるのか」と閉校を惜しむお声を頂きます。三木北高校は、これまで40年余りの歴史で培ってきた信頼関係により、地域の方の温かい眼差しや熱い思いを最後まで向けて頂ける学校なのです。

来年度も皆さんが、授業や部活動、生徒会活動はもちろん、地域とのつながりも意識し、「自ら考え、行動する」積極的な取り組みを、自信をもって行ってくれることを願っています。

次にここで皆さんとお会いするのは4月の始業式です。集まるメンバーは同じですが、学年は1つずつ上がります。新年度の始まりに、集まった皆さんから「志」や「自覚」をもった目の輝きを感じさせてくれることを期待して、講話を終わります。

令和7年 3 月 21 日

兵庫県立三木北高等学校 校長 吉田 真治

